

2016年

夏

どうそ 満

議員活動報告



発行責任者 道祖 満

飯塚市鯉田2525-44

TEL 25-3280・22-9323

つくります!
newしいづかライフ

飯塚市議会議員

どうそ

道祖

満

e-mail:m.douso@fmwu.or.jp

ひさかたの天の河原の渡し守

君わたりなばかぢ隠してよ

(よみ人知らず)

皆様お元気ですか。4月に発生した熊本地震には驚きましたが、皆様には被害はありませんでしたか。

熊本県の益城町には母方のいとこが住んでおり、連絡を取ったところ家屋は全壊ではないが住める状態ではなく仮設住宅の入居を考えているとのことでした。被災地のその後の雨の影響も気になりますが、早期の復旧を願っています。

飯塚市議会では、6月定例市議会が6月15日より6月29日まで開催されました。

今回の定例市議会では、「通学に関して①自転車通学について、②幸袋中学校区小中一貫校の通学路の防犯灯整備について。」・「熊本地震に伴う廃棄物の運搬及び処理について。」(質問に際して熊本県益城町に震災後の街の状況を見て来ましたが、全半壊した家屋を多く目にしました。震災後約2か月を過ぎても何も手がついていない状況でした。)・「飯塚市自然環境保全条例について。」・「飯塚市子ども・子育て会議の開催について。」一般質問を行いました。

また、経済建設委員会では、所管事務調査として「新飯塚駅東口の公園整備に関して。」

「国道201号立岩大橋側道橋整備事業について。」市の考え方を質しました。

議員提出議案として「少人数学級の推進などの定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書」の提案者と成りました。(2015年11月24日 OECD 公表 2012年の国内総生産 GDP に占める教育への公的支出割合は、日本3.5%、OECD加盟32か国中で最下位。)



平成 28 年 6 月定例市議会報告

平成 28 年 6 月定例市議会が 6 月 15 日から 29 日まで開催されました。

今回の定例市議会は、次の案件が審議されました。

- ◎私立保育所整備補助事業費 (山内・伊岐須) 4 億 1051 万 5 千円・道路橋梁維持費 9440 万円・中心市街地活性化事業道路橋梁新設改良費 9020 万円・立岩公民館建設事業用地購入費 8030 万円等の予算 7 億 2968 万 7 千円を補正して 724 億 5018 万 1 千円とする「平成 28 年度飯塚市一般会計補正予算 (第 2 号)」
- ◎国民健康保険システム改造委託用 162 万円を補正し 169 億 3978 万 6 千円とする「平成 28 年度飯塚市国民健康保険特別会計補正予算 (第 1 号)」
- ◎卸売市場等施設整備検討委員会経費。施設整備基本構想策定支援委託料等の予算 963 万 5 千円を補正して 8616 万 8 千円とする「平成 28 年度飯塚市地方卸売市場事業特別会計補正予算(第 1 号)」
- ◎福祉有償運送事業の事業実施者の登録が無い為、飯塚市福祉有償運送運営協議会を廃止する。「飯塚市付属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例」
- ◎卸売市場の施設整備に関して検討委員会を設置して調査審議するための、「飯塚市付属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例」

2016年(平成28年)6月7日 火曜日

第1回 第1期 第1回

市場移転検討委 8月に設置

飯塚市、補正予算など提案へ

飯塚市は6日、老朽化が進む同市菟田西3丁目³の市地方卸売市場の移転場所などを話し合う検討委員会を8月に設置すると発表し

飯塚市は6日、老朽化がた。15、29日の定例市議会に、基本構想策定の委託料や委員報酬など964万円を盛り込んだ地方卸売市場事業特別会計補正予算案や、設置に関する条例改正案を提案する。

市によると、委員会は市場関係者や学識経験者ら13人で構成、年度内に移転場所や規模などを示す基本構想を答申する予定という。

議会には、市場移転後の菟田地区の整備の方向性などを調査する委託料400万円を盛り込んだ、総額7億2969万円の一般会計補正予算案も提案する。

この補正予算案には、立

岩公民館を同市新立岩の日本たばこ産業の営業所跡地2279平方メートルに建て替えるための用地購入費8030万円や、認定ことも園に移行する山内、伊岐須の両私立幼稚園への整備補助事業費4億1052万円も盛り込んでいます。

市長を除く特別職3人の資産報告に関する条例案は「検討中」として今回の定例会には提案しない。市議会が議員の資産報告制度を廃止した後、市は特別職3人を公開対象から外した。市側は3月の定例会で、市民団体「資産公開を考える会」から抗議を受けたことなどを挙げ、3人を公開対象とすることに「いろいろなご意見を踏まえて、今後考えていく必要がある」と答弁していた。

(垣花昌弘)

- ◎地方税法の一部を改正する法律の公布に伴う市民税の延滞金の計算期間の見直し等により関係規定を整備するための「飯塚市税条例の一部を改正する条例」
 - ◎学校教育法の一部改正に伴い、放課後児童支援員の資格様家を改正する必要が生じ、義務教育学校を加えるものの「飯塚市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例」
 - ◎8億4240万円で前田・豊栄・エムハウジング特定建設工事共同企業体と「仮称飯塚市立穂波東小中学校(4工区)工事」の「契約の締結」
 - ◎2億8947万5640円で瑞建工務店と「旧平恒小学校大規模改造(その1)工事」の「契約締結」
 - ◎2億4505万8480円で西組と「旧平恒小学校大規模改造(その2)工事」の「契約締結」
 - ◎消防ポンプ自動車2台を(株)ナカムラ消防化学から3665万7360円で取得する「財産の取得」
 - ◎教育用情報機器一式を(株)麻生情報システムから3175万2千円で取得する「財産の取得」
 - ◎市道2路線の廃止する「市道路線の廃止」
 - ◎市道5路線を認定する「市道路線の認定」
 - ◎小型自動車競走事業特別会計の平成27年度決算の赤字に伴う繰上充用に係る経費57億7220万8千円補正して1268億566万8千円とする、専決処分の承認「平成28年度小型自動車競走事業特別会計補正予算(第1号)」
 - ◎公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めること
- 報告事項として、◎飯塚市土地開発公社・公益財団法人飯塚市教育文化振興事業団・一般財団法人サンビレッジ茜・一般財団法人筑豊勤労者福祉協会の平成27年度の各決算と、平成28年度の各事業計画及び予算等の21件
- 議員提出議案として、◎「飯塚市議会の議員の議員報酬の特例に関する条例」◎食品ロス削減に向けての取り組みを進める意見書、◎少人数学級の推進などの定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書、◎環太平洋連携協定(TPP)批准案の撤回を求める意見書(賛成少数で否決)の4件

震災支援・街頭募金活動を行いました。

熊本地震の被災地の支援活動として4月23日から3日間市内の商業施設等で市議会議員の有志22名で街頭募金活動を行いました。

3日間で「80万3218円」の募金が集まりました。集まった募金は、飯塚市を通じて日本赤十字社に送られました。多くの市民の皆様の温かい気持ちに接することが出来ました。ご協力に心から感謝申し上げます。

学校通学に関して一般質問

① 自転車通学について

質問 平成 28 年度の一般会計予算審議に置いて「飯塚第一中学校の駐輪場整備」の予算が計上されこれについて審議が行われていますが、その際の質疑で、自転車通学について教育長の答弁では三点の条件が必要であると言われていたのですが、その条件とはどのようなものですか。自転車通学の安全教育を学校で行うとのことですが、具体的な教育の内容についてはどのように考えられていますか。自転車通学を許可する条件は三点が揃えば希望者には許可されるのですか。

答弁 1 点目は、自転車通学の際の交通ルール遵守、2 点目は、ヘルメット着用・決まった通学路を通る等の保護者の子どもへの指導監督、3 点目は、学校での安全教育の実施。が条件として考えている。安全教育については、警察、交通安全指導員を講師にした座学・実技を伴う交通安全教室の実施を考えている。通学の許可は、第一中学校では学校までの距離が直線で 2 km 以上の生徒を対象と考えている。

質問 関係各者に自転車通学の実施の際には広報をして安全性を確保する様にとの要望がされていますが、昨年道路交通法が改正され自転車は原則車道を通ることになっていると思いますが、教育委員会としては、原則通り車道を通ることを指導するのか、生徒の安全性を確保するとの考えで歩道を通る許可をお願いするなど警察との協議を考えているのですか。

答弁 質問者指摘の通り道路交通法の改正があったが同法の第 6 3 条の 4 第 1 項「普通自転車の歩道通行として道路標識等により普通自転車が当該歩道を通行ができることとされているときは歩道を通行することができる。」とされており、学校・関係機関団体・関係各課と協力して、学校長・PTA 会長連名の要望書を提出して改善に努めていく。以上のような質疑を行い、自転車通学に関しては、教育委員会が学校と保護者がよく話し合いを行い生徒の安全性を考えて通学路を決めることを指導するように要望致しました。

② 幸袋地区小中一貫校の通学路の防犯灯整備について

質問 平成 25 年 12 月定例市議会の一般質問の際、幸袋地区の目尾からの通学路の防犯灯の設置について市の考えをおたずねいたしました。その際の、学校施設整備推進室主管の答弁では、「通学路への防犯灯等の設置については開校準備協議会に置いて必要とする場合は協議を踏まえて設置について関係課と協議をしていく。」といわれていたのですが、その後、開校準備協議会では防犯灯の設置についてはどのような協議が行われましたか。

答弁 防犯灯の設置については、必要な個所の確認を行い、設置要望を所管課へ依頼している。尚、設置個所の農地の農作物への影響については地元農区長に説明を行い理解

を頂いている。

質問 前回の質問の際、総務部長は関係者と協議を行い、防犯灯設置については前向きに検討してまいりたいとの答弁でしたが、この小中一貫校は平成 28 年 4 月に開校予定でしたが、すでに防犯灯は設置されたのですか。

答弁 現時点では設置されていない。弁明をすると並行して旧道がありこの旧道が幸袋小学校の通学路で防犯灯が設置されており開校に向け通学路が一本化できるのか教育委員会に打診中で、当該道路が通学路としてそのままであれば予算も確保していますので開校までには設置します。

質問 わたしは、小学校と中学校の通学路がそれぞれに指定されているので、一本化が出来るのかと思いますが、できるのですか。

答弁 現在、学校間協議を行っており結論が出ていない状況です。先ほどの総務部長答弁の通り一本化が出来ない場合の対応を考えており、その方向で進めていきたいと考えている。

以上のような質疑を行い、生徒の通学時の安全を確保することを前提に、平成 29 年 4 月の開校に合わせて協議を行い、早急に結論を出すことを要望致しました。

震災復興支援「廃棄物の運搬・処理について」

熊本地震復興支援「廃棄物の運搬・処理について」一般質問を行いました。

飯塚市では、平成 28 年 6 月 4 日から熊本地震で発生した廃棄物の処理に取り組んでいます。その内容は、6 月 4 日に職員 11 名、3 トンパッカー車 3 台・2 トンパッカー車 2 台で、熊本市災害ごみ仮置き場から 12 トンの可燃災害ごみを、飯塚市クリーンセンターに運び処理を行い、6 月 6 日からは平日のみ毎日 3 トンパッカー車 1 台 2 名体制で処理を行っています。新聞報道では、熊本県内の全半壊の建物は約 3 万棟を超え、災害廃棄物は最大 130 万トンになると推計されるとありました。今後、飯塚市としては災害廃棄物の処理の支援を行う考えがあるのか質しました。

質問 現在の飯塚市での廃棄物の処理能力の余裕はどの程度ありますか。

答弁 飯塚クリーンセンターの処理能力は 1 日当たり 180 トンで、90 トンの溶融炉 2 基を交互運転しており一日当たり 10 トン程度の余裕はある。

質問 交互運転で余裕は 10 トンという事は、2 基フル運転すれば 100 トン余裕がある、100 トンまで可能であるということでしょうか。

答弁 その通りです。

質問 6 月 4 日に熊本市と詳細に協議を行うとのことでしたが、その際に東日本震災により生じた災害廃棄物を広域処理したような対処について要望等がありましたか。

答弁 災害ごみの仮置き場は、想像以上の廃棄物が山積になった状態で、熊本市との協議はできなかった。その後、福岡県へ問い合わせたが、「熊本県では県内のガレキ等の処

理計画を作成中であり県内で処理できない分を近隣県に協力要請があるのではないかと思います。」とのことで、処理計画は8月から9月頃と聞いている。

質問 今後、報道されている倒壊家屋の撤去等を考えると広域処理の依頼があるのではないかと思いますのですが、その場合の対応については取組むことができますか。

答弁 広域処理の依頼があれば本市も可能な限り支援を行っていく考えであるが、ただし、処理可能な可燃性混合ごみになると考えている。

飯塚市自然環境保全条例に関して

飯塚市自然環境保全条例に関して一般質問を行いました。

飯塚市では、平成18年10月10日に「飯塚市自然環境保全条例」が制定されて自然環境の保全、安全な生活環境を守ってきています。

ここ近年、市内では自然エネルギーの太陽光発電所設置と自然環境との問題が話題となっていますが、現行法の中で太陽光発電所設置に対して規制が何もない状態です。

市に対して、何らかの法整備に取組むことを要望致しました。

これに対して、福岡県市長会を通じて国へ法整備の必要性を強く要望しているところであるとのことでした。

「子ども・子育て支援事業計画」に関連して

「子ども・子育て支援事業計画」に関連して一般質問を行いました。

3月定例市議会で、保育所等に入所出来ない子供たちへの対応について一般質問を行い。その際、「事業計画が策定されてから子ども・子育て会議が開催されていない。」「保育所等に入所出来ない子供たちが予想を超えて増えていることに対して対応を協議していない。」と答弁があり、これに対して、内部協議を行い、この会議を開催して対応策について検討する事を要望していました。その後の取組みについて質しました。

これに対して、今回の答弁では、平成27年8月24日に子ども・子育て会議を開催していたが、指摘の通り、平成26年度策定の「子ども・子育て支援事業計画」の平成27年度の推計値よりも実際の出生数が上回っていることについて議論すべきだったと考えている。保育士不足の要因である処遇の改善については、4月から保育協会代表者6名と月1回の協議を行っている。平成28年度の子ども・子育て会議は8月に開催予定で準備を進めているが、この会議で、推計値を上回る出生数、入所基準の緩和による入所希望者の増加等を踏まえ状況の報告とその解消策について審議を行う予定で、平成29年度中には事業計画の見直しを考えている。これからの対応は、保育士の確保に全力を上げる。保育士の処遇改善には私立保育園の協力を求め進める。とのことでした。

経済建設委員会報告

◎「新飯塚駅東口の公園整備」について所管事務調査を行い市の考えを質しました。

新飯塚駅東側の旧九州ミツミ(株)の跡地約1万1千坪には現在マンションが数棟建設されていますが、これからも民間業者によってマンション建設の計画が示されています。

以前の一般質問でこの土地の開発は都市計画の開発行為に該当しないため、公園整備については指導ができず、民間業者に敷地内に整備を御願いとすることでしたが、市での公園整備が妥当であると考え再度公園整備について取り組むように要望致しました。

質問 現在、この土地とこの土地周辺には何棟のマンションが建ちその戸数は合わせて幾らですか。また、今後のマンション建設はどうなっていますか。

答弁 現在、使用開始マンション4棟・283戸で、建設中のマンションが3棟145戸で合計7棟428戸です。今後建設が計画されているマンションは3棟です。

質問 今後の計画を含めると約600戸前後の戸数に平均2名が居住すると考えると約1200人がこの場所に住むこととなります。「中心市街地の開発には約3万坪の土地に105億円を投入して250人の居住人口増を目指している。」と新聞報道がありました。この新飯塚駅東口では約半分の土地に民間業者で開発が進められ約1200人が居住することになるわけですが、公園整備までを民間業者に御願いと考える考えで良いと思いませんか。

答弁 公園や緑地は、良好な居住環境を支える重要な要素であると考えている。現在施行中の立岩大橋側道橋整備事業の進捗状況等も勘案しながら地域特性に合った公園・緑地の確保について検討する。

◎「立岩大橋下から新飯塚駅東側の間の道路の一方方向通行を交互通行へ改善を要望」

立岩大橋の側道橋整備事業が、平成30年3月末の完成を目指して工事が始まりましたが、新飯塚東口側には約1200人の居住が考えられますので、現在一方通行の道路を側道橋整備と併せて交互通行のできる道路に改善することを要望致しました。

これに対して、市は国と積極的に協議を行い、

「交互通行の実施に向けて進めていく。」との答弁がありました。



海上自衛隊護衛艦「いずも」視察研修に参加

平成28年6月30日海上自衛隊護衛艦「いずも」が博多港の箱崎に寄港し、防災研修会が開催されました。

飯塚市議会議員には、「いずも」の防災体制と災害対応設備等の視察の案内がありましたので参加致しました。

「いずも」は、4月の熊本地震の際には災害支援の為に、北海道から車両約40台を博多港まで運び、博多港から車両が熊本の震災支援へ向かった。との説明や、艦内には医療設備が整い、避難用ベット1000床があり、食事も一度で1000人分の用意が出来る設備、海水から真水にする換水機能も備えているとのことでした。

護衛艦「いずも」飛行甲板上
SH-60型ヘリコプター前にて



2016年(平成28年)7月1日 金曜日 西日本新聞

海自最大艦「いずも」博多港で防災研修会
博多港の箱崎ふ頭に寄港した海上自衛隊最大の護衛艦「いずも」(1万9500トン)で30日、自治体防災関係者らを対象にした防災研修会があり、内部が報道陣に公開された。
いずもは昨年3月に就役したヘリコプター搭載型の護衛艦で、全長248.1メートル、幅38.1メートル。博多港への寄港は4月に熊本地震の災害派遣で北海道の陸上自衛隊隊員約160人と車両約40台を運んで以来2回目、20日から1泊した。自衛隊幹部は「災害対策での有益性をPRすることに加え、朝鮮半島有事などに博多港を利用する際の訓練の意味もある」と明かす。

研修では、艦の乗員が負傷者を搬送し、治療の優先

順位を決めるトリアージ(選別)を実施。その後、乗員がヘリの機が駐機できる格納庫や、テニスコート30面分の広さがある全通甲板などを案内した。ふ頭では巨船に驚いた市民も多く、保安フェンス越しに見物する人々もいた。

